

3月2日・学習交流集会

福島「今」から私たちの課題を考える

—震災・原発が問いかけるものⅢ—

「カレイ類など底魚は放射線量が強く獲れない。東電は汚染水を
いずれ流すだろう」

「福島県のすべての種類の魚を放射能のない元に戻せ。福島県民約
5万人は全国へ逃げ回っている。元の生活水準を取り戻したい」

「原発を推進した国には責任をきっちり取ってもらう」

働く場所の保障もなく、将来の見通しも持てなくされている高校
生たち。

「放射線の問題はない。騒ぐ人達がいるからそうなるだけ」と市
教委は放射線教育のための研修会を進める一方で、「復興は学力向上
で」と学校と子ども達を追い立てる。

道路一本隔てただけで大きく異なる賠償額に翻弄される住民の生
活と感情。

今回は「生業（なりわい）を返せ、地域を返せ！」福島原発訴訟
原告団団長の中島孝さんに福島の実情と抱える課題や困難について
お話し頂き、教職員として市民としての私たちの課題を話し合いたい

日時：3月2日（日） 10時～17時

会場：エデュカス東京 4F 都教組会議室

内容：1部：福島からの報告と討論

「福島・相馬の現状・困難となりわい訴訟」

—「生業を返せ、地域を返せ！」—

中島 孝 さん（福島原発訴訟団 団長）

（プロフィール）スーパーマーケットを経営。

震災直後から店内の全てのものを住民のために放出。

救援物資をすべての住民に届ける活動の先頭に立つ。

多くの非災民、原発被害者とともに「なりわい訴訟」を起

2部：私たちの課題と取り組み（予定）

- * 「福島の子どもたちへのびのびタイムを」に取り組んで学んだこと
- * 「放射線副読本をどう教えるか」作成とその実践（理科部会）
- * 授業実践報告

●最寄駅

JR四谷駅下車徒歩7分

JR市ヶ谷駅下車徒歩7分

地下鉄有楽町線麹町駅下車2分

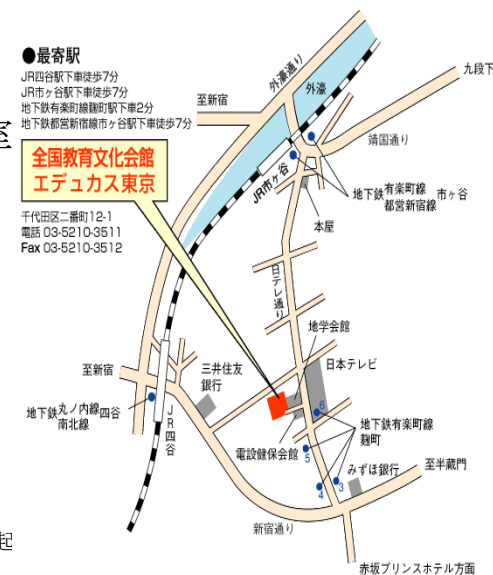
地下鉄都営新宿線市ヶ谷駅下車徒歩7分

全国教育文化会館
エデュカス東京

千代田区二番町12-1

電話 03-5210-3511

Fax 03-5210-3512



主催：東京民研・東京都教職員組合

（問い合わせ：03・3230・0841、03・3230・3891）